



# ～かごしまの遺跡～

第16号 平成30年6月30日

## 焼け落ちた住居 春日堀遺跡（志布志市）



36号住居跡



土器集中部



炭化木材

人が並んだ写真は、古墳時代（約1,700年前）の竪穴住居跡です。直径が約10mもあり、これまでに発見されたこの時代の住居跡としては九州最大級です。一般的な竪穴住居跡の2倍以上の大きさがあり、どのように使われたのか注目されます。

住居跡内には炭化した木材や焼土が残っていることから、この住居跡が何らかの理由で焼失した可能性があります。また、床の一部からは、土器片が意図的に敷き詰められたような状態（土器集中部）で発見されました。春日堀遺跡では、他にも似た状況の竪穴住居跡が5軒発見されています。

“戦いで焼け落ちた？” “転居の儀礼が行われた？” 様々な想像がふくらむ興味深い遺跡です。

# 発掘調査から報告書刊行まで

## 発掘調査

埋蔵文化財調査センターは、国事業に関わる開発予定地内にある遺跡の発掘調査を実施しています。現状のまま保存できない埋蔵文化財について、写真や図面で精密に記録して保存する目的で行われます。



### ①表土掘削

バックホーなどの重機で表土を掘り下げていきます。



### ②遺構検出・掘り下げ作業

竪穴住居などの遺構を探し、人力で丁寧に掘り下げていきます。



### ③遺構実測作業

見つかった遺構の大きさや形を正確に測り、図化していきます。



### ④出土遺物の測量作業

土器などの遺物が出土した場所を記録していきます。



### ⑤写真撮影

見つかった遺跡や遺物は、写真を撮り記録します。



### ⑥現地説明会の開催

調査成果を現地で公開する説明会を行います。

※写真は、平成 29 年度川久保遺跡（鹿屋市細山田）発掘調査のもの。

## 整理作業

発掘現場で出土した遺物は、水洗い・注記・接合・復元・実測・トレース・レイアウト・写真撮影などの作業を経た後、調査報告書としてまとめます。



### ①接合作業

遺跡から出土した遺物をパズルのようにつないでいきます。  
(永吉天神段遺跡)



### ②復元作業

接合が終わった遺物は、隙間に石膏を入れて復元していきます。  
(町田堀遺跡)



### ③実測作業

遺物の大きさや形を正確に測り、図化していきます。  
(天神段遺跡)

# 平成30年度 発掘調査・整理作業予定遺跡

埋蔵文化財調査センターでは、県内各地で発掘調査を行っており、その様子を見学することができます。見学の際は、埋蔵文化財調査センターまたは各遺跡にある調査事務所までお問い合わせください。



## 第2整理作業所

※整理・報告書作成作業量の増加に伴い、霧島市立福山中学校跡に新たな作業所を設置しました。



牧山遺跡

## 平成30年度の事業内容

平成30年6月1日現在

内容	起回事業	遺跡名	所在地	調査期間
発掘調査	東九州自動車道建設	木森遺跡	志布志市	H30.5～H30.8
		春日堀遺跡		H30.5～H30.11
		荒園遺跡	大崎町	H30.5～H30.8
		川久保遺跡	鹿屋市	H30.7～H30.8
		田原迫ノ上遺跡		H30.7～H30.11
		立小野堀遺跡		H30.7～H30.11
	国道220号古江バイパス建設	石鉢谷A・B遺跡	H30.11～H31.2	
南九州西回り自動車道建設	六反ヶ丸遺跡	出水市	H30.5～H31.1	
	薩摩川内市街部改修	高野木遺跡	薩摩川内市	H30.5
報告書作成作業	東九州自動車道建設	見掃遺跡	志布志市	H30.4～H31.3
		永吉天神段遺跡	大崎町	H30.4～H31.3
		川久保遺跡	鹿屋市	H30.4～H31.3
	薩摩川内市街部改修	高野木遺跡	薩摩川内市	H30.6～H30.7

  

内容	起回事業	遺跡名	所在地	調査期間
整理作業	東九州自動車道建設	安良遺跡	志布志市	H30.4～H31.3
		小牧古墳群		H30.4～H31.3
		春日堀遺跡		H30.4～H31.3
		宮脇遺跡	大崎町	H30.4～H31.3
		荒園遺跡		H30.9～H31.3
		京の塚遺跡		H30.4～H31.3
	国道220号古江バイパス建設	小牧遺跡	鹿屋市	H30.4～H31.3
		牧山遺跡		H30.4～H31.3
		白水A遺跡	鹿屋市	H30.4～H31.3
		萩ヶ峯A遺跡		H30.4～H31.3
南九州西回り自動車道建設	山ノ上B遺跡	出水市	H30.8～H31.3	
	六反ヶ丸遺跡		H30.4～H31.3	

# 平成29年度刊行報告書

## 永吉天神段遺跡（曾於郡大崎町）

永吉天神段遺跡は、旧石器時代から近世までの複合遺跡です。弥生時代中期の円形周溝墓を頂点とする土坑墓群から、国内最古級に比定される鉄鏃が出土しました。中世では、白磁や青磁、瓦質土器や東播系須恵器等が多量に出土するとともに、地下式坑と呼ばれる中～近世の大型土坑も確認されました。

本報告書では、古代・中世・近世についての調査成果がまとめてあります。



土坑墓5号内の遺物



縄文時代早期の土器

## 天神段遺跡（曾於郡大崎町）

天神段遺跡では、平成19年度から25年度の7年間にわたって発掘調査が行われ、旧石器時代の石器製作跡や縄文時代の集落跡、中世の掘立柱建物跡群が発見されました。遺物では、西日本最古級の石剣をはじめとする石器、古代の土師甕や墨書皿、近世の陶磁器等が出土しました。各時代とも遺構・遺物が多く、遺跡内外における人々の生活を知る貴重な資料となります。

昨年度は、縄文時代早期編と旧石器時代～縄文時代草創期編を刊行しました。

## 町田堀遺跡（鹿屋市）

町田堀遺跡は、縄文時代早期から古代までの複合遺跡です。古墳時代では、南九州特有の地下式横穴墓が88基発見され、円形周溝を伴う例も初めて確認されています。周辺遺跡との比較などから、大隅半島の古墳時代像の解明に大きく期待される遺跡です。このほか、縄文時代後期の堅穴建物跡から、<sup>かしはら</sup>櫃原文と呼ばれる文様が線刻された完全な状態の石刀が出土しています。

本報告書では、平成26～28年度の調査成果がまとめてあります。



縄文時代後期の土器

## 発掘調査成果の公表

### －現地説明会・鹿児島文化振興財団体験フェア－

埋蔵文化財調査センターでは、発掘調査成果の公表や遺跡の公開に努めています。昨年度は、川久保遺跡（鹿屋市）や六反ヶ丸遺跡（出水市）で現地説明会を実施しました。今年度も随時開催する予定です。

ホームページなどに案内を掲載しますので、ぜひ御参加ください。

また、宝山ホールで開催される「みてきてあそぼう！鹿児島県文化振興財団体験フェア」（9月1日（土）～2日（日）10:30～15:30開催予定）では、発掘調査中の遺跡の紹介や出土した土器や石器などの展示を行う予定です。お気軽にお越しください。



（公財）埋蔵文化財調査センターのホームページは、上野原縄文の森（<http://www.jomon-no-mori.jp>）

または、鹿児島県文化振興財団（<http://www.houzanhall.com/zaidan/>）

「上野原縄文の森」からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

## ～かごしまの遺跡～

第16号

発行日 平成30年6月30日  
編集・発行 （公財）鹿児島県文化振興財団  
埋蔵文化財調査センター  
〒899-4318 鹿児島県霧島市  
国分上野原縄文の森2番1号  
TEL 0995-70-0574 FAX 0995-70-0575  
URL: <http://www.jomon-no-mori.jp>  
E-mail: [maibunchosa@tuc.bbq.jp](mailto:maibunchosa@tuc.bbq.jp)